

2017年（第3期）
CSAJ スタートアップ支援事業
実施報告



2017年1月～12月

CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合
無限責任組合員 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

目次

1.はじめに	4
2.CSAJ スタートアップ支援事業の概要と目的	5
3.実施体制	6
(1)実施体制図	6
(2)CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合	6
(3)運営委員会	7
(4)投資委員会	8
(5)諮問委員会	8
4.スタートアップ企業の支援実施概要	9
(1)全体スケジュール	9
(2)スタートアップ企業の募集	10
(3)事前審査、ヒアリング	12
(4)投資委員会にて決定した支援先	12
5.スタートアップ企業に提供した具体的な支援プログラム	13
(1)プロモーション活動支援	13
(2)先輩起業家等による定期セミナーの開催	14
(3)メンター陣による支援	15
(4)教育プログラムの提供（e-learning、集合研修等）	15
(5)契約書等のひながた等の提供	15
(6)相談窓口の設置	16

(7)コミュニティサイト等の設置	16
(8)ワーキングスペース・商談スペースの無償提供.....	16
(9)レンタルサーバの提供および技術支援	17
(10)バーチャルオフィスの紹介	18
(11)製品発表の場の提供	18
(12)CSAJ 準会員に登録、CSAJ の各活動を紹介.....	19
6.中間発表会（CEATEC JAPAN 2017）の開催	20
7.最終発表会（Demo Day 3rd）の開催.....	20
(1)開催概要	20
(2)発表企業 6 社のご紹介	22
(3)2015 年～2016 年支援企業 12 社のご紹介	23
8.総括	25
資料 1 CSAJ スタートアップ支援事業の案内(2017 年募集要項)	26
資料 2 CSAJ スタートアップ支援エントリーシート	30

1.はじめに

現在 CSAJ の中核を構成している会員企業の多くは、20 年前、30 年前はベンチャー企業であった。つまり、CSAJ は、成功したソフトウェア系ベンチャー企業が数多く集まっている団体であると言ってよく、かく言う私も株式会社オービックビジネスコンサルタントを創業したのは 40 年近く前のことである。このよう状況を踏まえ、CSAJ スタートアップ支援事業は、2015 年度から「起業家が起業家を育てる好循環」を創り、その中から『世界を変えるような革新的なソフトウェア』を生み出すことを目標とし、この趣旨に賛同する企業・個人が志を一つにして「CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合（略称：CSAJ ファンド）」を設置し、始めた事業である。本年度は、優良案件の発掘をさらに進めるため、経済産業省が実施している IoT 推進ラボ及び一般社団法人未踏とも連携し、先進的 IoT プロジェクト選考会議のグランプリ受賞企業を含むファイナリストや未踏事業の卒業者で起業を検討している方へのアプローチも強化した。

CSAJ ファンドは出資するだけでなく、起業家を育てることに重きをおいている。例えば昨年 9 月から 11 月にかけて私を含めた各メンターが、月 2 回ほどセミナー形式で自分たちの起業時に苦労した経験談や法務などの専門知識について講義しその要点を伝授した。同セミナーは、12 月に開催したデモデーで各出資企業の経営者に行われたインタビューを聴いても大変好評であったと知り、私も大変嬉しかった。この他にもメンター企業によるクラウドの開発環境や投資家説明会用 CSAJ 会議室等の無償提供、相談窓口を利用して申請困難な特許に対応してもらえる弁理士を紹介するなど色々な支援を行ってきた。

また、CSAJ ファンドでは、シード期の財務体質が盤石でないベンチャー企業を想定し、出資金額は 1 千万円未満に制限しているものの、デューデリジェンス無しに、投資委員会での 20 分間のプレゼンのみで判断され当日に結論が出て、通常 1 か月以内に入金するというスピード感で出資を行っている。追加出資は原則行わないこととしているものの、事業が順調に進捗し体制の強化のために増資の必要が出てきた場合、CSAJ 事務局がメンターに紹介して、メンター企業から個別に追加出資してもらった企業も数社あると聞いている。

さらに、投資契約が起業家に対して非常に優しい条件になっており、とにかく、どんなことでもファンド事務局が経営者側に親身に寄り添って課題解決の相談にのることになっている。ここまで「起業家が起業家を育てる」という精神を徹底しているファンドが他にあるだろうか。おそらく出資を受けている経営者の方々も、CSAJ ファンドには全幅の信頼をおき、自身に都合の悪い情報でも早めに CSAJ ファンドに伝えて相談にのってもらおうという好循環が回りだしていると思う。

投資実績も 2015 年度は 5 件、約 24 百万円を出資したが、2016 年度は 8 件、約 53 百万円、2017 年度は 6 件、約 46 百万円、併せて累計 19 件、約 123 百万円となった。基本的には前半 5 年間で毎年 10 件程度、全体で 50 件程度の企業にシードマネーを供給する計画であり、今後も、『世界を変えるような革新的なソフトウェア』、特に政府が進める第 4 次産業革命及び Connected Industries に貢献するような製品、サービスを生み出すソフトウェア (IoT、ビッグデータ、AI、データ連携など) の事業化を考えている企業に出資したいと考えている。このようなビジネスプランをもっている方は私もしっかり応援したいし、是非 CSAJ ファンドに応募してほしい。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
CSAJ スタートアップ支援事業 運営委員会
委員長 和田 成史

2.CSAJ スタートアップ支援事業の概要と目的

(1)起業家が起業家を育てる仕組み

ベンチャー企業は経済を活性化させる重要な役割を担っている。それは米国の IT 系ベンチャー企業が米国経済を牽引している現状をみれば、疑問の余地はないだろう。シリコンバレーでは年間平均 1 万 7300 社が起業し、1 万 2,800 社が廃業している（このデータの出所は、“Silicon Valley Index 2012”で、数字は 1995 年から 2010 年の平均値）。もちろん、この起業数と廃業数の差、4,500 社がすべて成功して大企業に成長するわけではない。半ば死んだような状態で存在し続けるゾンビ状態になるベンチャー企業も少なくない。大企業に買収されるか、新規株式公開（IPO）してエグジットに成功する企業は、この 4,500 社の一部でしかない。しかし、その中には時価総額数十兆円の Google や Facebook が含まれている。

重要なことは、この膨大なチャレンジがあるからイノベーションが生まれ、世界を変えるソフトウェアが生まれてくるという点にある。もちろん、単純にチャレンジの数を増やせばよいというものではない。抜きん出た才能をもった人材を発掘し、起業を支援する仕組みが必要である。

米国にはスタートアップ・アクセラレータと呼ばれる組織がいくつも存在する。2005 年にわずか数万ドルで設立されたシリコンバレーの Y Combinator LLC もその一つで、オンラインストレージ・サービスの Dropboxなどを育て上げ、2010 年までに投資したベンチャー企業の評価額は数十億ドルになっている。スタートアップ・アクセラレータは、シード期のベンチャー企業に投資するだけでなく、起業家を教育・訓練する仕組みを持っており、起業経験者が起業家を育てるという好循環エコシステムの一部になっている。日本にもこうしたシード期のベンチャー企業に投資を行い、起業家を育てる仕組みが必要なのではないだろうか。

(2)ソフトウェアで世界に挑む –ソフトウェア分野におけるスタートアップを支援

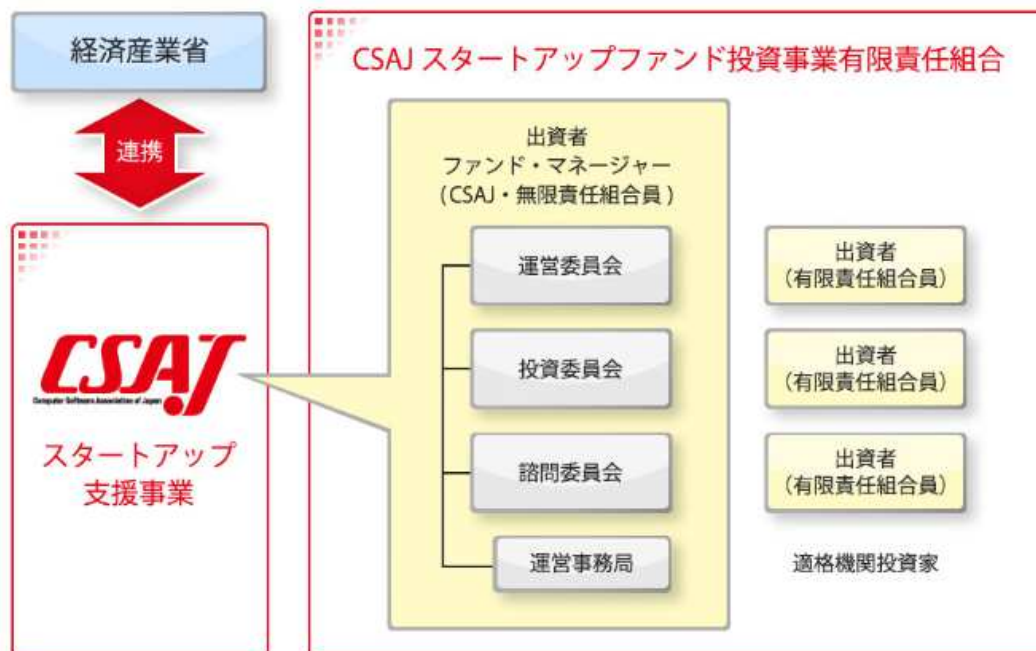
そこでCSAJでは、シリコンバレーのような「起業家が起業家を育てる好循環」を創り出し、そこから『世界を変える革新的なソフトウェア』を生み出すことを目的とし、ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップを公募、選定し、出資を行うとともに、CSAJ会員企業の経営者等による経営指導、メンタリング、教育・訓練等を行う「CSAJスタートアップ支援事業」を2015年6月よりスタートした。

IT分野では、非IT分野と比べて、起業の必要資金が少なく事業化が容易だと言われている。特にソフトウェアのような知識集約型産業では、もっと多くのベンチャー企業が生まれも不思議ではない。そうしたチャレンジが増えることによって、世界を変えるイノベーションが生まれる可能性が高まることが期待できる。そこで、日本のソフトウェア産業の業界団体として30年の歴史を刻むCSAJは、そのポテンシャルを活かして、世界に挑むことのできる優れた才能を発掘し、ソフトウェア産業の次の30年をリードする新しい企業を育てる事業「CSAJスタートアップ支援事業」を開始した。

3.実施体制

CSAJスタートアップ支援事業は、以下の体制で実施した。

(1)実施体制図



(2)CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合

支援対象のスタートアップ企業に出資するため、2015年6月15日に組成した「CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合(以下、「CSAJファンドという」)」においては、CSAJが無限責任組合員(以下「GP」という)の役割を担い、CSAJ内に「運営委員会」「投資委員会」「諮問委員会」をそれぞれ設置した。CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合の概要は以下の通り。

ファンド名称	CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合 (略称：CSAJファンド)
無限責任組合員(GP)	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
出資規模	2億8,500万円
組成日	2015年6月15日
存続期間	7年を想定
組成組合員	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(GP) 株式会社豆蔵ホールディングス 株式会社フォーラムエイト さくらインターネット株式会社 フリービットインベストメント株式会社 サイボウズ株式会社 株式会社コーエーテクモキャピタル キャピタル・パートナーズ証券株式会社(適格機関投資家) 株式会社コスモ・コンピューティングシステム 株式会社大塚商会 IOTスタートアップ株式会社 前川 徹 株式会社アイビス・キャピタル・パートナーズ

(3)運営委員会

CSAJ内に設置した「運営委員会」は、本事業の基本的な方針の決定、事業の運営管理、支援するスタートアップ企業の選定等を行った。運営委員会のメンバーは以下の通り。

和田 成史(委員長)	株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長/CSAJ名誉会長
荻原 紀男	株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長/CSAJ会長
青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長/CSAJ副会長
伊藤 裕二	株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長/CSAJ理事
襟川 恵子	株式会社コーエーテクモホールディングス 代表取締役会長/CSAJ名誉顧問
田中 邦裕	さくらインターネット株式会社 代表取締役社長/CSAJ理事
清水 高	フリービット株式会社 取締役副社長
高間 徹	
平野 高志	ブレイクモア法律事務所 弁護士/CSAJ監事
牛嶋 将二	ブレイクモア法律事務所 弁護士
湯川 抗	昭和女子大学 グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科 教授
日野 和麻呂	株式会社オービックビジネスコンサルタント 開発部 部長
善方 正義	新日本有限責任監査法人 公認会計士
前川 徹	国際大学GLOCOM 所長
笹岡 賢二郎	CSAJ専務理事

2017年は、計4回の委員会を開催し、主に以下の内容を検討した。

<委員会の開催>

第14回	2017年03月08日
第15回	2017年07月12日
第16回	2017年09月13日
第17回	2017年11月30日

<検討事項>

1)平成28年度CSAJスタートアップ支援事業について

- ・2017年のスタートアップ支援事業の実施概要について
- ・起業家の応募状況報告
- ・起業家向け支援プログラムについて
- ・中間発表会(CEATEC JAPAN)について
- ・最終発表会(Demo Day)について

2)CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合(略称：CSAJファンド)について

- ・第3期CSAJファンド収支予算(案)について
- ・第3期CSAJファンドの投資結果について
- ・第4期CSAJファンドの年間計画(案)および予算(案)について
- ・第4回キャピタルコールの実施について

(4)投資委員会

CSAJ内に設置した「投資委員会」では、応募されたスタートアップ企業から最終的な投資候補者を選定し、CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合に推薦した。投資委員会のメンバーは以下の通り。

荻原 紀男(委員長)	株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長／CSAJ会長
和田 成史	株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長／CSAJ名誉会長
青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長／CSAJ副会長
伊藤 裕二	株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長／CSAJ理事
田中 邦裕	さくらインターネット株式会社 代表取締役社長／CSAJ理事
清水 高	フリービット株式会社 取締役
前川 徹	国際大学GLOCOM 所長
笹岡 賢二郎	CSAJ専務理事

アドバイザー

松原 健二	株式会社セガネットワークス 取締役
-------	-------------------

※必要に応じて、アドバイザーや法務関係の専門家にも参加を依頼した。

2017年は、3回の委員会(臨時開催含む)を開催し、投資候補を選定が行われ、2017年に投資を決定した企業は6社となった。詳細は後述の通り。

<委員会の開催>

第07回	2017年02月24日
第08回	2017年03月08日 (臨時開催・運営委員会)
第09回	2017年08月30日

(5)諮問委員会

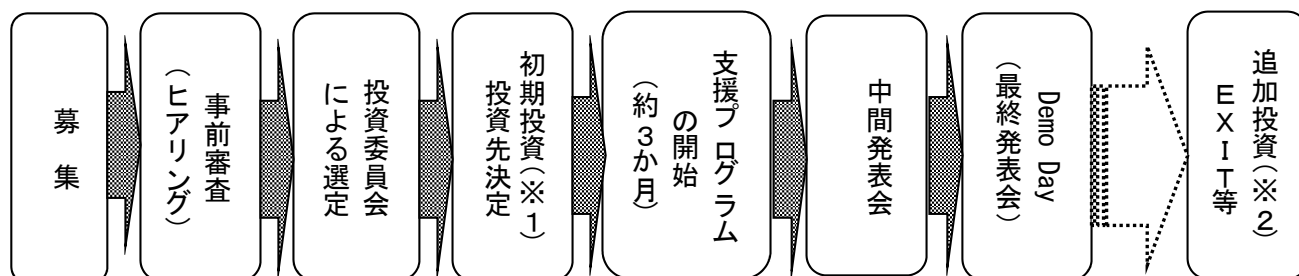
CSAJ内に設置した「諮問委員会」では、CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合契約に基づく取引等に関し、無限責任組合員等に意見を求められた場合など、必要に応じて対応した。諮問委員会のメンバーは以下の通り。

水谷 学	ピー・シー・エー株式会社 代表取締役社長／CSAJ筆頭副会長
筒井 豊春	キャピタル・パートナーズ証券株式会社 代表取締役社長 兼 CEO

4.スタートアップ企業の支援実施概要

「本気で日本のITベンチャーを育てる」をモットーに、CSAJ スタートアップ支援事業では、まずはスタートアップ支援を希望する企業の募集を行い、運営委員会および投資委員会で支援候補を選定し、最終的に投資委員会で投資候補として採択されたスタートアップ企業に対し、次のような支援プログラムを約3ヶ月提供し、その後、投資家に向けた発表会を実施し更なる成長を支援した。

<募集から投資までの流れ>



<CSAJ ファンドからの投資>

- ※1 シード期の初期投資 300万円～1000万円程度（取得株式：5～10%を想定）
- ※2 成長の期待できる企業への追加投資 1,000万円～5,000万円程度（取得株式比率は相談）

(1)全体スケジュール

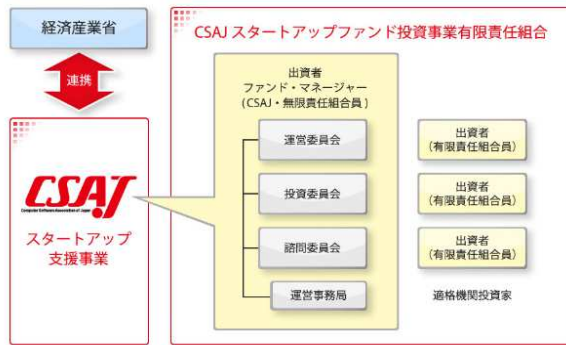
2017年のCSAJ スタートアップ支援事業は、以下のスケジュールで実施した。

	2017 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018 1月
運営委員会			●(3/8)				●(7/12)		●(9/13)		●(11/30)		
投資委員会		●(2/24)						●(8/30)					
組合員集会			●(3/8)										
起業家募集 (一次・二次)				募集期間: 4/1～7/31						募集期間: 10/1～1/31			
キャピタルコール	●												
定期セミナー									定期セミナー、中間発表会、最終発表会は、年1回のサイクルで開催し、二次募集で採択された企業は、翌年度の一次募集の採択企業と一緒に発表 (9/7～11/28 6回程度開催)				
中間発表会										●			
最終発表会												●	
CSAJファンド 決算報告		▲(第4四半期)		▲(第1四半期)			▲(第2四半期)			▲(第3四半期)			
		▲第2期後期				▲第3期前期							
		▲第2期決算											

<組織>

CSAJスタートアップの組織

米国では、多くはアップルコンピュータやマイクロソフト、最近ではAMAZONやFACEBOOKなど、ベンチャーとしてスタートアップし、大きな成長を遂げ、世界を代表する企業となる例が多くありません。これは創業者の才能だけでなく、企業を生み育てる環境が整っていることが大きく影響しています。日本では「起業人材の不足」、「スタートアップ支援の不足」、「高成長に向けた連携・資金の不足」等が足かせとなり、多くの才能が目の目をすくってしまわすケースが散見されます。CSAJでは、スタートアップ支援事業を推進する運営委員会を設置し、各種支援の企画・運営を行うとともに、スタートアップ起業家への投資を行う「CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合」を別途組織し、ITベンチャーのスタートアップを促進していきます。



<メンター陣>

 和田 成史 (委員長) (株)オービックビジネス コンサルタント 代表取締役社長 CSAJ名譽委員(勲会員)	 秋原 紀男 (株)近藤ホールディングス 代表取締役社長 CSAJ会長	 青野 俊久 サイボラス(株) 代表取締役社長 CSAJ副会長	 伊藤 裕二 (株)フォーラムエイト 代表取締役社長 CSAJ理事
 田中 邦祐 ネットインターネット(株) 代表取締役社長 CSAJ理事	 清水 暁 フリービット(株) 取締役副社長	 種川 泉子 (株)コエーテックホールディングス 代表取締役社長 CSAJ名譽顧問	 平野 高志 グレークミア法律事務所 弁護士 CSAJ理事
 高橋 徹 元米国ベンチャー企業 Vice President	 岩川 純 昭和女子大学 グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科 教授	 日野和麻呂 (株)オービックビジネス コンサルタント 取締役 部長 日本RA(株) 取締役	 牛嶋 将二 グレークミア法律事務所 弁護士
 前川 暁 国研大学GLOCOM 市長 CSAJフェロー	 伊藤 賢二郎 (一社)コンピュータソフトウェア協会 専務理事		

(3)事前審査、ヒアリング

2017年に行われたCSAJファンドのGP(CSAJ)による事前ヒアリングは、2016年の二次募集から2017年一次募集までに応募された20社を対象に行い、投資委員会に建議する14社を選定した。

- 2016年 二次募集期間 2016年10月1日～2017年1月31日
エントリー数 11社
事前ヒアリング 10社 (1社海外在住のため審査できず保留)
投資委員会建議 7社
- 2017年 一次募集期間 2017年4月1日～7月31日
エントリー数 10社
事前ヒアリング 10社
投資委員会建議 7社
- 2017年 二次募集期間 2017年10月1日～2018年1月31日
エントリー数 9社
※事前ヒアリング、投資委員会は2018年に実施

(4)投資委員会にて決定した支援先

2017年1月～12月に開催された第7回～第9回の投資委員会(臨時開催含む)では、事前審査で選定された14社から、以下の6社を新たな投資先として選定し、累計では19社への投資を行った。

(各社の詳細は後述を参照)

- 株式会社ウエルネスデータ
- 株式会社トレイル
- エブリセンスジャパン株式会社
- 株式会社テックフォースレボ
- キャップクラウド株式会社
- 株式会社パルソラ

※2015年より支援している13社は以下の通り。

- Bank Invoice (バンクインボイス) 株式会社
- 株式会社eBook Cloud (イーブッククラウド)
- 株式会社プレミアムアーツ
- 株式会社Manabelle (マナベル)
- 株式会社Mealthy (メルシー)
- FacePeer (フェイスピア) 株式会社
- モビルス株式会社
- ミクロマクロリンク株式会社
- tripla (トリプラ) 株式会社 (旧社名: 株式会社umami (ウマミ))
- 株式会社円簿インターネットサービス
- 株式会社インサイト・プラス
- グリッドロー株式会社 (支援終了)
- 株式会社ビブリオスタイル (現: トリムマーク株式会社)

5.スタートアップ企業に提供した具体的な支援プログラム

2017年に新たな支援先となったスタートアップ企業6社には、以下の支援プログラムを提供した。

- (1)プロモーション活動支援
- (2)先輩起業家等による定期セミナーを開催
- (3)メンター陣による支援
- (4)教育プログラムの提供（e-learning、集合研修等）
- (5)契約書等のひながた等の提供
- (6)相談窓口の設置
- (7)コミュニティサイト等の設置
- (8)ワーキングスペース・商談スペースの無償提供
- (9)レンタルサーバの提供および技術支援
- (10)バーチャルオフィスの紹介
- (11)製品発表の場の提供
 - ・ 中間発表会：展示会「CEATEC JAPAN 2017」での発表の場
 - ・ 最終発表会：投資家向け製品発表の場（Demo Day 3rd）
 - ・ その他（CSAJ アライアンスビジネス交流会での発表、関係団体等の委員会での発表）
- (12)CSAJ 準会員に登録、CSAJ の各活動を紹介

(1)プロモーション活動支援

新たに採択された6社のPRを含め、以下の通り実施した。

○CSAJ スタートアップ公式サイトへの採択企業のロゴ掲載

<http://www.csajstartup.com/>



○CSAJ スタートアップ支援事業採択についてのリリースを発信

- <http://www.csaj.jp/NEWS/activity/startup/20151225.html> (1社)
- <http://www.csaj.jp/NEWS/activity/startup/20160602.html> (3社)
- http://www.csaj.jp/NEWS/activity/startup/20161003_1.html (4社)

(2)先輩起業家等による定期セミナーの開催

先輩起業家による体験談等を紹介するセミナーを以下の通り定期的を開催し、終了後は、個別相談にも対応した。

- 会期：平成 29 年 9 月 07 日(木)～11 月 28 日(火) 全 6 回 (8:30～10:30)
- 会場：CSAJ 3F 会議室 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル



<熱心に聞き入る起業家の皆さん>



<熱く語る先輩起業家の皆さん>

開催日時	プログラム・先輩起業家等登壇者
第 1 回 09 月 07 日 (木) 8:30～10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムの説明(オリエンテーション) ・採択企業の紹介(自己紹介)、休憩 ・先輩起業家体験談 講師：荻原紀男氏 (CSAJ 会長) 株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長
第 2 回 09 月 27 日 (水) 8:30～10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩起業家体験談 講師：和田成史氏 (CSAJ 名誉会長) 株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長 <ul style="list-style-type: none"> ・教育プログラム 講師：平野高志氏(CSAJ 監事) ブレイクモア法律事務所 弁護士
第 3 回 10 月 17 日 (火) 8:30～10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩起業家体験談 講師：青野慶久氏 (CSAJ 副会長) サイボウズ株式会社 代表取締役社長 講師：清水高氏 フリービット株式会社 取締役副社長
第 4 回 10 月 24 日 (火) 8:30～10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩起業家体験談 講師：伊藤裕二氏 (CSAJ 理事) 株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長 講師：田中邦裕氏 (CSAJ 理事) さくらインターネット株式会社 代表取締役社長
第 5 回 11 月 07 日 (火) 8:30～10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・教育プログラム 講師：湯川 抗氏 昭和女子大学 グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科 教授 講師：前川 徹氏 (CSAJ フェロー) 国際大学 GLOCOM 所長
第 6 回 11 月 14 日 (火) 8:30～10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩起業家体験談 テーマ： 講師：襟川恵子氏 (CSAJ 名誉顧問) 株式会社コーエーテクモホールディングス 代表取締役会長 <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ、DEMO DAY の準備

(3)メンター陣による支援

運営委員会メンバーがメンターとなって、スタートアップ企業への支援を個別に対応した。
また、520社を超えるCSAJ会員企業から、支援を希望する企業の紹介なども行った。

(4)教育プログラムの提供 (e-learning、集合研修等)

○ e-learning で提供する教育プログラム

新日本有限責任監査法人社のご協力により、以下のe-learningプログラムを投資契約締結後、期間限定無料で提供した。

主なコンテンツ：

- ・簿記会計入門
- ・簿記会計基礎
- ・原価計算入門
- ・退職給付会計
- ・減損会計のしくみ
- ・キャッシュフロー計算書
- ・税効果会計のしくみ
- ・金融商品会計
- ・リース会計入門
- ・法人税申告書
- ・人事マネジメントの基礎
- ・労務管理の基礎
- ・人材定着のポイント
- ・メンタルヘルスガイドライン
- ・ビジネスモデルの適法性チェック
- ・スタートアップが気をつけるべき法律のポイント
- ・M & A戦略と留意点
- ・個人情報保護法について
- ・企業不祥事と取締役の責任
- ・投資契約
- ・種類株式
- ・知的財産とは何か
- ・労働法基礎
- ・会社の管理
- ・経営戦略、計画策定
- ・企業価値評価の実務
- ・内部監査の基礎
- ・情報セキュリティの基礎
など

(5)契約書等のひながた等の提供

以下の契約書等のひながたを紹介した。

2015年に作成され、Webサイトに公開されている各契約書等のひながたを紹介するとともに「第2回先輩起業家等による定期セミナー」において、平野弁護士(CSAJ 監事)による支援企業向けの説明も行った。

○掲載 Web ページ

<http://www.csaj.jp/activity/project/startup/support.html>

○掲載している書式等

- 会社設立にともなって決定すべき事項のリスト
 - ・ 株式会社用
 - ・ 合同会社用
- 定款のひながた
 - ・ 定款 雛型 (取締役会 あり)
 - ・ 定款 雛型 (取締役会 なし)
 - ・ 定款 雛型 (合同会社)
- 株主間契約
- 投資契約書
 - ・ シード・ラウンド用 (競合避止義務なし)
 - ・ シード・ラウンド用 (競合避止義務あり)
- 新株予約権割当契約書 (税制適格についての考慮なし)

(6)相談窓口の設置

以下の相談窓口を設置し、相談を受け付けた。

- 相談窓口メールアドレス startup-info@csaj.jp
相談内容に応じて、事務局より先輩起業家（メンター）および専門家の方々を紹介した。
- CSAJ の活動に協力をいただいている専門家の方々の Web を紹介
<http://www.csaj.jp/activity/support/consulting.html>

(7)コミュニティサイト等の設置

スタートアップ企業同士および事務局とのコミュニティを形成するための「コミュニティ広場」「コミュニティサイト」を用意し、支援期間中、活用された。

○コミュニティサイト

サイボウズ Live「CSAJ スタートアップ支援_コミュニティ」を用意し、起業家同士の情報交換、事務局からの案内などを掲載。

サイボウズ Live「CSAJ スタートアップ支援_コミュニティ」の画面



(8)ワーキングスペース・商談スペースの無償提供

各メンターの協力も受け、以下のワーキングスペース・商談スペースを無償で提供した。

○サイボウズ社の商談スペースの利用

サイボウズ社のオープンスペースを商談スペースとして提供。

サイボウズ株式会社 〒103-6028 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 27 階

地図：http://cybozu.co.jp/company/info/map_tokyo.html

利用可能日時：平日 9:00～18:00（土・日・祝日、同社の休日は除く）



○フォーラムエイト社のセミナールーム、プレゼンテーションルームの利用

フォーラムエイト社のセミナールーム、プレゼンテーションルーム、中会議室の無償提供。
各ルームにはテレビ会議システム常設。また、ノートPC 20台の利用も可能。

株式会社フォーラムエイト 〒108-6021 東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 21F

地図：<http://www.forum8.co.jp/forum8/showroom.htm#sr-tokyo>

利用可能日時：平日 9:00～18:00（土・日・祝日、同社の休日は除く）



○CSAJ 内ワーキングスペースおよび商談スペースの利用

先輩起業家による定期セミナー終了後から 17:00 まで、CSAJ 内の会議室を開放。その他の日程も、希望に応じて商談スペースを提供。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6

赤坂グレースビル 3 階 or 4 階

地図：<http://www.csaj.jp/member/room.html>

利用可能日時：平日 10:00～18:00

（土・日・祝日、年末年始休暇、協会設立記念日を除く）



(9) レンタルサーバの提供および技術支援

さくらインターネット社の協力により、以下の通り同社のサービスおよび技術支援を無償（期間限定）で提供した。

【支援内容】

■ インフラ支援

クラウドサーバー「さくらのクラウド」 (<http://cloud.sakura.ad.jp/>) の無償提供

制限：スペックや台数の制限は一切なし。

■ 技術支援

対面 or ビデオ会議によるインフラ環境の技術コンサル

【期間】

出資確定より6カ月。

6カ月経過後は、相談の上、最大1年まで更新可能。

(10)バーチャルオフィスの紹介

さくらインターネット社の協力により、以下のとおりバーチャルオフィスの期間限定無償提供を紹介した。

■Joe's ビジネスセンター (<http://www.joes-office.com/>)

さくらインターネット社の子会社「Joe's クラウドコンピューティング」が運営している「バーチャルオフィスサービス」を、一定期間無償で提供。梅田・銀座・青山のいずれかの住所利用、郵便物・FAXの転送、会議室、電話転送サービス等の利用が可能。※具体的な内容については、応相談

Joe's ビジネスセンター (<http://www.joes-office.com/>)

Joe's バーチャルオフィスの例：東京・銀座



(11)製品発表の場の提供

スタートアップ企業の製品発表の場として、「中間発表会(CEATEC JAPAN 2016)」「最終発表(Demo Day)」の開催、そしてCSAJが主催するアライアンスビジネス交流会での発表、関係他団体等での発表など各方面での場の提供を行った。

○中間発表会(CEATEC JAPAN 2017) ※詳細は後述。

- ・会期：2017年10月4日(水)
- ・場所：幕張メッセ(千葉)

○最終発表(Demo Day 3rd) ※詳細は後述。

- ・会期：2017年12月7日(木)
- ・会場：東京ミッドタウン

○その他

- ・CSAJアライアンスビジネス交流会での発表

CSAJでは、IT企業間で互いのビジネスパートナーを探索していただくためのビジネスマッチングの場を提供する「アライアンスビジネス交流会」を年に5回開催しており、CSAJスタートアップ支援事業で支援を受けている企業からも以下の通り発表が行われた。

2017年04月18日 株式会社 eBook Cloud

2017年06月22日 株式会社トレイル

2017年11月07日 株式会社テックフォースレボ

2017年11月07日 キャップクラウド株式会社

※2018年以降の発表企業も調整中。

- ・一般社団法人東京都情報産業協会(略称：IIT)ニュービジネス委員会(略称：NB委員会)への参加
IIT/NB委員会では、新たなビジネスモデルに対し、会員企業が新事業に積極的に取り組めるよう事例の紹介や提供方法、ノウハウなどを支援し、さらには、時代の潮流に沿った新たな取組みを紹介するという目的をもって活動しており、この度、CSAJ スタートアップ支援事業で支援を受けている各社の発表の機会を設けていただき、以下の通り発表が行われた。

2017年02月13日 株式会社ビブリオスタイル

2017年04月17日 株式会社 Manabelle (マナベル)、株式会社 Mealthy (メルシー)

2017年09月04日 株式会社トレイル、株式会社ウエルネスデータ

※2018年以降も、継続して発表予定

(12)CSAJ 準会員に登録、CSAJ の各活動を紹介

スタートアップ企業がCSAJ 準会員として登録することで、CSAJ の各種活動への参加を可能とした。CSAJ 準会員として協会活動に参加し、各種情報収集や会員企業様との人脈拡大などに利用された。

○CSAJ 入会のご案内

→ <http://www.csaj.jp/nyukai/index.html>

6.中間発表会（CEATEC JAPAN 2017）の開催

2017年に新たに支援を開始したスタートアップ企業5社の中間発表会として、CEATEC JAPAN2017のカンファレンスセッションにおいて各社の製品、事業概要等について紹介した。

開催日：平成 29 年 10 月 4 日（火）15:30-17:00

会場：幕張メッセ国際会議場

聴講：73 名

はじめに、CSAJ 笹岡専務理事よりスタートアップ支援事業の概要について説明が行われ、続いて、2017年に支援を開始したスタートアップ企業5社から、製品概要について説明が行われた。

■発表したスタートアップ企業5社

- ・ウェルネスデータ株式会社
- ・株式会社トレイル
- ・エブリセンスジャパン株式会社
- ・キャップクラウド株式会社
- ・株式会社テックフォースレボ



事業説明：CSAJ 笹岡専務理事



聴講者の皆様

7.最終発表会（Demo Day 3rd）の開催

－第3回目となる投資家向け発表会を開催－

CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合と一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)の共催で、「CSAJ Startup Demo Day 3rd」を東京ミッドタウンにて12月4日に開催した。

はじめに、CSAJ スタートアップ支援事業投資委員会委員長の荻原紀男 CSAJ 会長より、ご自身の体験を交えた開会挨拶があり、基調講演では、経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課企画官 大西啓仁様をお招きし、IT産業の課題と政策展開についてと、スタートアップ支援事業への期待等についてご講演いただいた。

その後、CSAJ 笹岡専務理事からの CSAJ スタートアップ支援事業の概略に関する説明に続き、CSAJ ファンドの好事例として tripla 株式会社 代表取締役 CEO 高橋 和久 氏からご講演いただいた。

そして、スタートアップ企業6社がプレゼンテーションを実施。質疑応答も時間いっぱいまで繰り広げられた。

発表終了後は、懇親会場に用意したデモブースで、参加各社が思い思いのデモブースを確認し、様々な質問や、時には厳しいご意見等により、スタートアップ企業の将来性を見定めていた。

また2015年より支援している企業から、以下の5社もデモコーナーに出展し、昨年に引き続き自社の商品を紹介した。

- ・ tripla 株式会社
- ・ 株式会社 eBookCloud
- ・ 株式会社プレミアムアーツ
- ・ 株式会社 Mealthy
- ・ FacePeer 株式会社



<懇親会場の様子>

(1)開催概要

主催：一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）
CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合
後援：経済産業省
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会（JVCA）
一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター（VEC）
一般社団法人未踏

日時：2017年12月4日（水）14:30～19:00

会場：東京ミッドタウン タワー4F カンファレンス Room7

聴講：84名

主催者挨拶：CSAJ 会長 荻原 紀男（株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長）

基調講演：「経済産業省の IT 関連の取組」

講師：大西 啓仁 氏（経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 企画官）



主催者挨拶 CSAJ 荻原会長



基調講演 METI 大西企画官

講演：「スタートアップ
「CSAJ」ファンド
講師：高橋

支援事業紹介」 CSAJ 専務理事 笹岡賢二郎
支援企業の好事例紹介」
和久 氏（tripla 株式会社 代表取締役）



支援事業紹介
CSAJ 笹岡専務理事



好事例紹介
Tripla 株式会社 高橋氏

プレゼンテーション：ス
CSAJ ファンドからの
スに関するプレゼン



スタートアップ企業のプレゼンテーション
投資が決まったスタートアップ企業6社より、各社の製品・サービス
プレゼンテーションが行われた。



- ・ウェルネスデータ株式会社
- ・株式会社トレイル
- ・エブリセンスジャパン株式会社
- ・株式会社テックフォースレボ
- ・キャップクラウド株式会社
- ・株式会社パルソラ



(2)発表企業 6 社のご紹介

	ウエルネスデータ株式会社 http://wellnessdata.jp/ 2011年12月設立のヘルスケア企業。「あらゆる健康データをあなたのミカタに」の理念のもと、「ひとりでも多くの方が健康で豊かな人生を楽しめる社会の実現」をめざして、健康アプリ"JouleLife"を核に、ユーザー視点にたった健康ビッグデータサービスを提供している。	
	代表取締役 星野 栄輔 氏 Demo 後の懇親会では多くの投資家、事業会社からお声かけいただき、資金調達や事業面での協業を目的とした面談を快諾いただいた。ビジネスモデルを磨き日本発ヘルステック企業としてアジアに展開していきたい。 様々な事業の浮き沈みを乗り越えてこられた先輩経営者の話を少人数かつインタラクティブに聞ける定期セミナーはプログラムの中でも特に参考になった。その後個別に相談できる皆様のオープンな姿勢に感謝している。	
	株式会社トレイル http://www.trail.jp 企業向けに最先端の技術を活用して、最高に業務効率を向上させるような業務システムをクラウドサービスとして提供します。基礎技術はスマートフォン、GPS ロガー、地図サービス連携、次世代型音声通話コミュニケーション、人工知能（自然言語、機械学習）です。	
	代表取締役 奥野 栄倫 氏 想定以上の多くの方に参加して頂き、その前で今まで進めてきたビジネスの内容を公開することができたことは大変よかったですと思います。その上で、懇親会では多くの VC の方や事業会社の方とお話しできました。今までいろんな会社様と面談させて頂きましたが、1つのプレゼンで複数社からいろんな角度のご意見を一度に頂けたことは、当社のビジネスの方向性を再確認できただけでなく、いろんな視点での進め方、考え方があると考えさせられる示唆とんだご指摘を頂いたのも有意義な会になったと考えております。	
	エブリセンスジャパン株式会社 http://every-sense.com/ 世界中のあらゆるセンサーデバイスが生成するデータと、そのデータを利用して今までにない事業やサービスの開発、学術研究に取り組む企業・研究機関が求めるデータの「希望条件」をマッチングさせ、データの売買を仲介する世界初のデータ流通プラットフォームです。「EverySense」は EverySense,inc.がプラットフォームを開発し、情報流通における中核的な仕組みに関して日本国内特許を取得しています。	
	取締役 森下 正次郎 氏 事業紹介後、10社（うち VC 4 社）と名刺交換、まず VC 4 社と情報交換予定。今後、事業を成長させ日本からの情報流通経済の確立という大きな目標に向かってまいります。経済産業省大西様の講演内容がタイムリーでした。事務局の皆様ありがとうございました。経営関連書籍を読むことでは得られないことのない、メンターからの経験に基づいた多くのアドバイスは、今後の会社経営において役に立つことばかりでした。また参加経営者との情報交換から、1社とは協業について実際にディスカッションを開始しています。	
	株式会社テックフォースレボ https://www.techforcerevo.com/ テックフォースレボは、電話系システムのプロフェッショナル集団として、豊富な経験と高いスキルで、企業様の音声コミュニケーションをサポートします。ビジネスホン、コールセンター向けの音声系クラウド・サービス"CloudFon"を提供しています。	
	代表取締役社長 杉本 茂 氏 多くの方にプレゼンを聞いて戴け、また、懇親会でいろいろなお話や名刺交換ができ有意義でした。今後具体的に話を進めたいと思っています。ビジネス成功へと邁進したいと思っています。 メンターの方々の経験談を聞き、いろいろな情報を得られましたし、ご苦労された経験からの励ましのお言葉を頂き、気持ち、モチベーションの面で支えられました。DemoDay も貴重な経験となりました。	

	キャップクラウド株式会社	http://www.capcloud.co.jp/
	クラウドテクノロジーの、「いつでも、どこでも」情報にアクセス出来る特性を活かし、企業の業務効率化を支援します。情報の価値は、受け取る人やタイミングによって大きく変わります。必要な情報を、必要なときに、必要な人へ届けることによって、働き方のパーソナライズを可能にし、「ひとりにひとつの働き方」が出来る環境を提供します。	
	代表取締役 荻沼 徹 氏	<p>あれだけ大きな発表の機会を与えていただいたことに大変感謝しています。「やらなければ！」というプレッシャーがモチベーションに繋がりました。今後は、CSAJ 様からいただいた期待に応えることが出来るよう、発表したサービスの成功に全力を注ぎたいと思います。</p> <p>メンターの経営者の方々に、特にオフレコの体験談をお話いただき、現在大きくなっている会社も起業当初には様々な苦労があったのだということがリアルに感じられ、モチベーションアップに繋がりました。</p>

	株式会社パルソラ	https://yomuco.jimdo.com/会社案内/
	スマートフォンに最適化した活字表現＝コミックノベルで、日本のエンターテインメントを世界に発信する！2017年8月、自社電子書店を開設。ソニー・ミュージックエンタテインメントとの共同事業で「イケメン落語®」を制作中。	
	代表取締役 三宅 克 氏	<p>質の高い投資関係者が多いと感じました。チャンスがあれば、何回でも参加させていただきたいと思います。事業の目指す先には確信がありますが、プロセスについては素人です。よき事業パートナーを得たいと思っています。</p> <p>なんといいても、実際に起業されて成功された方々の話は、とても興味深いです。こうした方々と親交が結べればいいなあ、などといってしまう。法務、財務など、足りないところもケアしていただいていますので、ありがたいです。実務者の研修があるとさらにありがたいです。</p>

(3)2015年～2016年支援企業 12社のご紹介

Bank Invoice (バンクインボイス) 株式会社	電子請求書のクローズド型ビジネス SNS を提供
株式会社 eBook Cloud (イーブッククラウド)	MCM ソリューション(モバイルコンテンツ管理)、カタログアプリのプラットフォーム提供事業
株式会社プレミアムアーツ	マルチプラットフォーム 3D グラフィックエンジンとハイクオリティ拡張現実 (AR) システム
株式会社 Manabelle (マナベル)	スキマ時間を利用したプログラミング学習支援アプリ【codebelle】を提供
株式会社 Mealthy (メルシー)	肥満を解消できる外食・中食検索サービス
FacePeer (フェイスピア) 株式会社	WebRTC を使った Web 上での Face to Face コミュニケーションプラットフォーム『FaceHub』を提供
モビルス株式会社	コミュニケーションプラットフォームの提供と、それを利用したアプリケーションの開発及び販売
マイクロマクロリンク株式会社	「E 譜テクノロジー (読み方: いーふテクノロジー)」を核とした、システム & アプリケーション開発、教材開発、ビデオ制作等

tripla 株式会社	飲食店での料理メニューの多言語化や母国語での簡単注文など、SNS 機能による口コミ拡散当の機能を提供するインバウンド対策アプリ
株式会社円簿インターネットサービス	中小零細企業、個人事業主向けのワンストップで必要な情報、業務ソフトを手に入れることができるビジネスポータルサイト「円簿クラウド」
株式会社インサイト・プラス	小売店やメーカー等の課題をインターネットとスマートフォンアプリを用いて解決
株式会社ビブリオスタイル	Web の技術を用いて高度な印刷を実現する組版エンジンをつくる

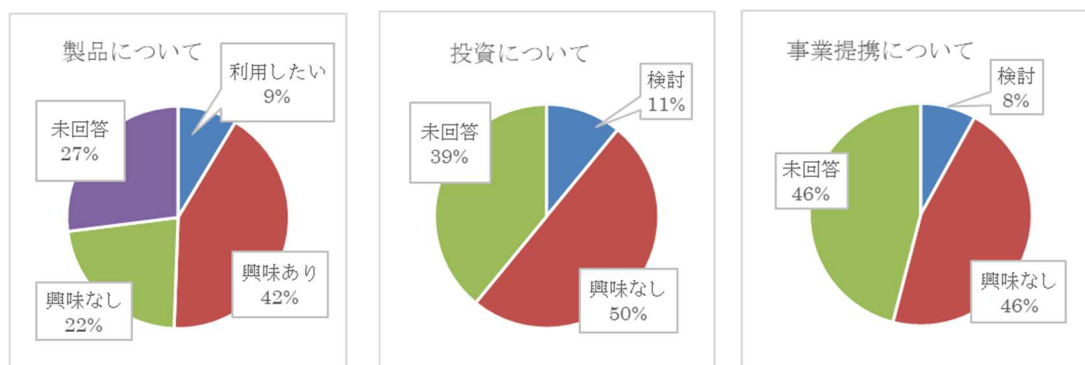
各社の詳細説明や代表者のコメントは「2015年（第1期）CSAJ スタートアップ支援事業実施報告」「2016年（第2期）CSAJ スタートアップ支援事業実施報告」をご覧ください。

* 下記 URL よりダウンロードいただけます。

<http://www.csaj.jp/activity/project/startup/report.html>

○当日の聴講者アンケートで頂いた主な意見は以下の通り。

- ・小職もベンチャー（起業）で関連のサポートを得たいと思っており、そのために発表できるよう頑張ろうと思います。
- ・貴重な会をありがとうございました。数社投資を検討させて頂きたいと思います。
- ・素晴らしい!可能性を感じる。
- ・今後、さまざまな形で連携できればと存じます。
- ・拡充に向けて進めていただければ
- ・社会的問題に対して現実的なアプローチ
- ・社会的意義の大きな事業だと思いました。
- ・チャットボットとの連携がうまくできるなら興味あり。



「CSAJ Startup Demo Day 3rd」終了後、会場で収集したアンケート結果をもとに、6社に興味を持ったVCとの橋渡しを行い、各社が個別に訪問するなど、積極的な活動を行いました。今後の成果を期待しているところです。

また、「CSAJ Startup Demo Day 3rd」実施記録として以下のWebにて終了報告と当日のビデオ映像を掲載しておりますのであわせてご参照いただければ幸いです。

終了報告 http://www.csaj.jp/NEWS/activity/startup/20171207_report.html

ビデオ公開 http://www.csaj.jp/NEWS/activity/startup/20171207_video.html

8.総括

2015年に経済産業省より受託した『平成26年度補正「先端課題に対応したベンチャー事業化支援等事業（ITベンチャーのスタートアップ促進事業）」の結果を受け、CSAJでは、2015年6月に組成したCSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合（CSAJファンド）と協力し、CSAJスタートアップ支援事業を2017年も継続して実施した。

2017年は、CSAJファンドの3期目として、CSAJスタートアップ支援事業の運営委員会・投資委員会と連携し、スタートアップ支援企業の募集から投資、各種支援等の作業・イベントはおおむね順調に実施することができた。以下は、事業実施の概要である。

- 1) 2015年に組成したCSAJファンドでは、2016年に1月末まで有限責任組合員（LP）を募集し、CSAJを含む13組合員（企業・団体・個人）で組織され、出資約束金額は2.85億円となった。
- 2) CSAJファンドは、金融商品取引法による適格機関投資家等特例業務にしたがってCSAJが無限責任組合員（GP）となって運営を行った。
- 3) 2017年(第3期)のスタートアップ企業の募集は、CSAJスタートアップ支援事業公式サイトにて行い、一次募集では10社、二次募集では9社の応募があり、2015年（第1期）および2016年（第2期）の応募とあわせた応募総数は60社となった。
- 4) 2017年に開催した投資委員会では、合計6社への投資を決定し、2015年(5社)、2016年(8社)の投資決定企業を合わせると19社となった。
- 5) 投資を決定したスタートアップ企業を育成するため、支援企業の経営者を対象として先輩起業家等による定期セミナーを6回開催（9月～11月）した。その他、e-learningによる教育プログラムの提供、契約書等のひながたの提供、相談窓口の設置、コミュニティサイト等を設置、ワーキングスペース・商談スペースの無償提供、レンタルサーバの提供と技術支援、バーチャルオフィスの紹介等の各種支援プログラムを提供した。
- 6) 10月に幕張メッセで開催されたCEATEC JAPAN 2017において中間発表会を実施し、スタートアップ企業5社がプレゼンテーションを行い、73名の聴講者には大変好評を得ることができた。
- 7) 12月7日にベンチャーキャピタル(VC)、事業会社のベンチャー投資部門などの関係者を集めDemo Day 3rdを開催し、84人の来場により大変盛況な会となり、今後の追加投資が期待されている。
- 8) 第3期二次募集で応募があった9社の事務局によるヒアリングは、2018年より実施され、その後、投資委員会での審議を経て、投資を決定する。
- 9) 第4期は、2018年4月より募集を開始し、本事業を継続する。

以上

資料 1 CSAJ スタートアップ支援事業の案内(2017 年募集要項)



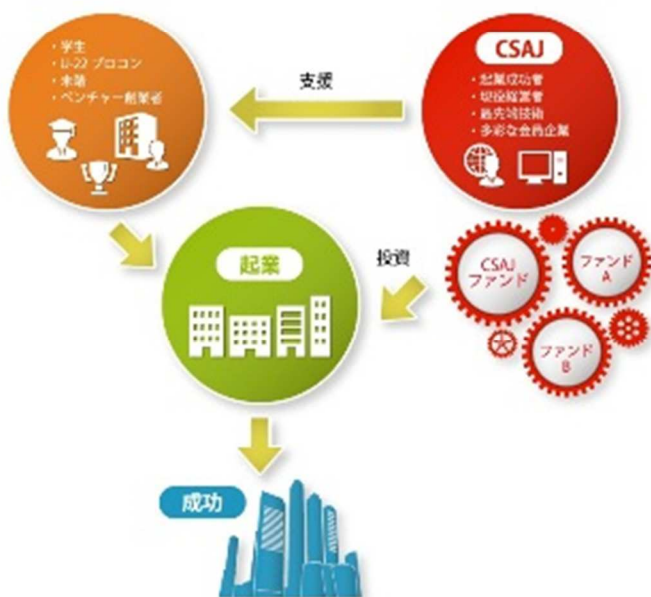
CSAJ Startup

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)では、ソフトウェア分野での起業成功者が多数存在する特色を生かし、ソフトウェア開発で起業を図るスタートアップに対して各種支援を行う「CSAJスタートアップ支援事業」は、2015年6月にスタートしました。

CSAJスタートアップ支援事業とは

CSAJがソフトウェアを中核とした技術系スタートアップを公募・選定し、出資を行います。あわせて、起業経験を持つ現役経営者等による経営指導、メンタリング、教育・訓練等充実した支援体制で、革新的なソフトウェアを生み出すスタートアップ企業をバックアップします。

また、本事業の運営開始に伴い、出資面で支援する「CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合(以下「CSAJファンド」)」を新たに設置いたしました。「CSAJスタートアップ支援事業」で発掘・育成された起業家には、「CSAJファンド」から、シード期の少額出資と成長の期待できる企業への多額出資の2段階での投資を予定しております。



目的

「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すため、シリコンバレーのような「起業家が起業家を育てる」好循環を日本に創り出す。

スローガン

本気で日本のITベンチャーを育てる

支援対象・主な支援内容

◇支援対象

ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップ企業またはチーム

◇主な支援内容

教育・訓練プログラムの提供、契約書等のひな形提供、相談窓口の設置、コミュニティサイト・広場の提供、先輩起業家等による定期セミナー開催、製品発表の場の提供、等

組織／支援体制

◇一般社団法人コンピュータソフトウェア協会／CSAJファンド無限責任組合員

スタートアップ支援事業

運営委員会(委員長:和田成史 CSAJ名誉会長)

投資委員会(委員長:萩原紀男 CSAJ会長)

諮問委員会

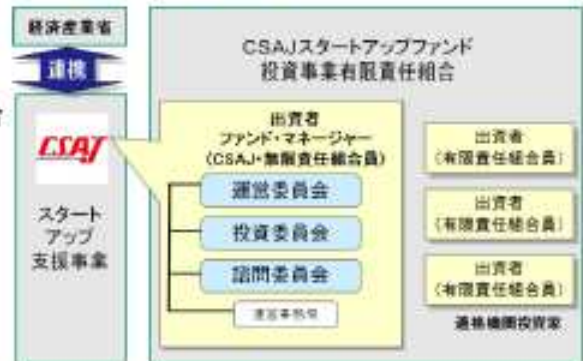
◇CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合(略称:CSAJファンド)

無限責任組合員、有限責任組合員、

有限責任組合員(適格機関投資家)

◇経済産業省

起業家を目指すIT人材のコミュニティを構築し、先輩企業家等によるスタートアップ支援が、革新的なベンチャー企業の創出に有効であることを実証する「経済産業省の平成26年度補正予算事業「ITベンチャーのスタートアップ促進事業」と連携



スタートアップ企業の募集

◇募集期間(2017年) 一次募集 2017年04月01日～2017年07月31日

二次募集 2017年10月01日～2018年01月31日

◇エントリー方法 CSAJスタートアップ公式サイトより、エントリーシートをダウンロードし、必要事項を記載の上、CSAJ事務局に提出

募集から採択、投資開始、教育(支援プログラム)、発表までの流れ



CSAJファンドからの投資

(1)シード期の初期投資

300～1,000万円程度を想定
(取得株式:5～10%を想定)

(2)成長の期待できる企業への追加投資

1,000～5,000万円を想定
(取得株式比率は相談)

投資のタイミング



MENTOR



和田 成史 (委員長)

(株)オービックビジネス
コンサルタント
代表取締役社長
CSAJ名誉会長(現会長)



萩原 紀男

(株)安福ホールディングス
代表取締役社長
CSAJ会員



西野 広久

サイボウズ(株)
代表取締役社長
CSAJ副会長



伊藤 裕二

(株)フォーラムエイト
代表取締役社長
CSAJ理事



田中 邦裕

さくらインターネット(株)
代表取締役社長
CSAJ理事



清水 高

フリービット(株)
取締役副社長



堀川 真子

(株)ユーエーテックホールディングス
代表取締役会長
CSAJ名誉顧問



平野 高志

ブレイクモア法律事務所
弁護士
CSAJ理事



高岡 徹

元米野ベンチャー企業
Vice President



堀川 抗

昭和女子大学
グローバルビジネス学部
ビジネスデザイン学科
教授



日野和麻呂

(株)オービックビジネス
コンサルタント
副代表 部長
日本RA(株) 取締役



牛嶋 裕二

ブレイクモア法律事務所
弁護士



前川 徹

国際大学GLOCOM
所長
CSAJフェロー



笹岡 賢二郎

(一社)コンピュータソフトウェア協会
専務理事

さらに、約550社の会員を持つ「CSAJ」がサポート



CSAJスタートアップ支援企業

CSAJスタートアップ支援事業で採択された企業をご紹介します。



■各社の詳細は、Webサイトをご参照下さい。⇒
http://www.csajstartup.com/#startupresults_block



CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合

ファンド名称	CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合(略称:CSAJファンド)
無限責任組員(GP)	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
出資規模	2.85億円
出資期間	5年を想定
ファンド存続期間	7年を想定(最大3年まで期間を延長する可能性あり)
主な組成投資家	(株)豆蔵ホールディングス、(株)フォーラムエイト、サイボウズ(株)、(株)コーエーテクモキャピタル、さくらインターネット(株)、フリービットインベスメント(株)、(株)コスモ・コンピューティングシステム、(株)大塚商会、IoTスタートアップ(株)、キャピタル・パートナーズ証券(株)、(株)アイビス・キャピタル・パートナーズ、(一社)コンピュータソフトウェア協会(無限責任組員)等

一般投資家(有限責任組員)募集は終了しました。

お問い合わせ

CSAJ Computer Software Association of Japan
 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CSAJスタートアップファンド事務局 担当: 山田、中野
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル
 TEL: 03-6435-5702 E-mail: startup-info@csaj.jp
 CSAJスタートアップ公式サイト <http://www.csajstartup.com/>

2017.12.5

資料2 CSAJスタートアップ支援エントリーシート

CSAJスタートアップ支援 エントリーシート

申込日: 年 月 日

会社・チームについて	
フリガナ	
会社名・チーム名※	
本社所在地※	〒
電話番号	
Web Page	
設立年月日※	
従業員数	
資本金	
代表者について	
フリガナ	
代表者氏名※	
電話番号※	(会社/自宅/携帯)
メールアドレス※	
生年月日※	
Twitter ID	
Facebookページ	
略歴※	
サービス・製品について	
名称※	
概要※	
デモサイトURL	
開発状況※	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> β版あり <input type="checkbox"/> 商用リリース済(年 月) <input type="checkbox"/> その他()
適用技術※	
対象ユーザー※	
市場規模※	
想定するグローバル展開※	
ゴールイメージ※	
現状の課題※	
エントリーのきっかけ※	
1. 紹介 (紹介者名:) 2. Web検索 3. その他 ()	

(※印の項目は記入必須です)

■以下の資料とあわせて事務局へご送付ください。

- ・ 製品・サービスの説明資料(Powerpoint)
- ・ 直近の決算報告(あれば)
- ・ 事業計画書(あれば)

■同意事項

エントリーシートの提出にあたっては、以下の事項にご同意の上、ご送付ください。同意いただけない場合及び必要な個人情報を提供いただけない場合は、受付および審査等に関する情報提供などができませんので、予めご了承ください。

- ・ 記入いただいた情報は個人情報になりますので、ご郵送等の際は中が透けて見えないようご注意ください。電子メールを利用する場合は、暗号化するなどでご対応下さい。
- ・ 記入いただいた個人情報は、当ファンドへのエントリーの他、等ファンドが主催する各種セミナーの開催や刊行物等の発行の案内に利用させていただく場合があります。
- ・ 当ファンドでは、業務の一部を外部に委託する場合があります。その場合、個人情報の取り扱いについては、委託先と機密保持契約書等を締結し、外部への漏洩、再委託の防止等不適切な取り扱いがないよう適切に管理いたします。
- ・ 提供いただいた個人情報の開示、訂正、利用停止、削除を希望される場合は、ご本人であることを確認させていただいた上、速やかに対応させていただきます。なお、開示の方法は、原則口頭またはFAXによるものとし、無料で対応させていただきますが、他の方法を希望される場合には実費にて対応致しません。なお、本件に関するお問い合わせは、以下にご連絡ください。

【送付先・問合せ】

〒107-0052

東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル4F

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 内 CSAJスタートアップファンド事務局

TEL: 03-6435-5702 / FAX: 03-3560-8441 / Email: startup-info@csaj.jp

担当: 井上、中野

事務局使用欄

2017年(第3期)CSAJスタートアップファンド支援事業 実施報告

2018年3月 発行

発行 CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合
無限責任組合員 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル
TEL : 03-3560-8440 FAX : 03-3560-8441
URL : <http://www.csaj.jp/>

©2017 CSAJ Startup Fund Investment Limited Partnership
Computer Software Association of Japan